

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成25年4月11日(2013.4.11)

【公開番号】特開2010-235923(P2010-235923A)

【公開日】平成22年10月21日(2010.10.21)

【年通号数】公開・登録公報2010-042

【出願番号】特願2010-42985(P2010-42985)

【国際特許分類】

C 08 F 4/6592 (2006.01)

C 08 F 10/00 (2006.01)

【F I】

C 08 F 4/6592

C 08 F 10/00 510

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月25日(2013.2.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ルイス酸性化合物を0.01mmol/g以上0.4mmol/g以下の範囲で吸着することが可能な担体[A]と、周期律表第3族～第11族からなる群に属する、炭化水素溶媒に可溶な遷移金属化合物成分[B]と、遷移金属化合物成分[B]と反応して触媒活性を有する金属錯体を形成することが可能である活性化剤[C]とから構成されるオレフィン重合用固体触媒の製造方法であって、担体[A]の存在下で遷移金属化合物成分[B]と活性化剤[C]とを、遷移金属化合物成分[B]の添加開始時刻と活性化剤[C]の添加開始時刻との時間差および遷移金属化合物成分[B]の添加終了時刻と活性化剤[C]の添加終了時刻との時間差を両添加時間の平均値に対して10%以内にして添加することを特徴とするオレフィン重合用固体触媒の製造方法。

【請求項2】

遷移金属化合物成分[B]の添加速度が、添加中の変動幅が平均添加速度の0.9倍以上1.1倍以下である請求項1記載のオレフィン重合用固体触媒の製造方法。

【請求項3】

請求項1または2に記載のオレフィン重合用固体触媒の製造方法により調製されるオレフィン重合用固体触媒を液体成分[D]と組み合わせて使用するポリオレフィンの製造方法であって、液体成分[D]が、下記式(1)で示される炭化水素溶媒に可溶な有機マグネシウム化合物[E]と、アミン、アルコール、シロキサン化合物から選ばれる化合物[F]とを反応させることによって合成されることを特徴とするポリオレフィンの製造方法。

(M¹)_a(Mg)_b(R¹)_c(R²)_d (1)

[式中、M¹は周期律表第1族、第2族、第12族、および第13族に属する金属原子であり、R¹およびR²は炭素数2以上20以下の炭化水素基であり、a、b、c、dは次の関係を満たす実数である。0 < a、0 < b、0 < c、0 < d、c + d > 0、e × a + 2b = c + d (ただし、eはM¹の原子価)]